



こんにちは

# 日本共産党 坂本みえこ です

2025年  
3月号

日本共産党  
世田谷区議会議員

坂本みえこ事務所 ● 世田谷区太子堂4-5-2 TEL 03-3419-7721 FAX 03-3419-7673

## 区議会定例会一般質問

令和7年第1回区議会定例会一般質問を行いました。

### ゆたかな主権者教育の推進を

まず主権者教育について質問しました。



今、政治家や芸能人などに対するSNSを利用した誹謗中傷、フェイクニュースの拡散が自死につながるなど、看過できない事態が起こっています。さらに、外国人、生活保護利用者、性的マイノリティ、女性などに対する偏見や差別など、政治家や影響力のある人物の言葉による攻撃が、少なくない人々の賛同を得ているという実態もあります。

一方、ハラスメントや性的加害・被害の問題など、抑え込まれてきた問題が明るみになり、フジテレビの問題にみられるように、声を上げ、労働組合に団結して闘う選択をする人が増えています。

今求められるのは、「人権」の尊重と、ゆたかな主権者教育ではないでしょうか。世田谷区で、子どもの権利条約がバージョンアップされる今こそ、主権者教育に積極的に取り組んでいただきたい、と質問しました。

区は、「子どもたちが身近な問題や社会の課題について自ら考え、判断し、知識の習得にとどまらず自ら意見を培う活動の充実が必要。」「児童・生徒の発達段階に応じて、これまでの取組みを工夫するなどし、主権者としての意識の涵養につながる主権者教育の充実に向けた取組みを推進してまいります。」と答弁しました。有権者教育に狭めることなく、ゆたかな内容の主権者教育が必要です。

### 生活困窮者等に対する必要な支援を

次に、生活困窮者に対する必要な支援について質問しました。



区は、債権管理重点プランに基づく生活困窮者等に対する必要な支援への連携の仕組み(案)を出しました。

これまで債権管理といえば、収納率の向上や収入未済額の縮減のとりくみでしたが、「納付したくても納付できない」といった納付義務者に寄り添い、住民税や国保料などを集める側の所管と、生活困窮者等の支援を行う福祉所管が情報を共有し、継続して相互連携を図りながら、生活困窮者に対する適切な支援を行う仕組みが世田谷区でも構築されることは「だれ一人取り残されない」という社会への一歩でもあります。

生活困窮者の共通点は、複数の困難が重なっていることと、社会とのつながりが切れていることだといわれます。この連携の取り組みは、簡単なことではありません。

この施策を進めるうえで、欠かせない、生活保護ケースワーカーの増員を求めました。

### 生活保護



社会福祉法では生活保護世帯80に対してケースワーカー1人と配置基準を定めています。東京民報社が行ったアンケート調査によると、世田谷区はケースワーカーの担当世帯数95と回答しており、23区中、回答のなかった2区を除き、足立区と並んで最も多くなっています。

あるケースワーカーの方から「もつと丁寧に寄り添った対応がしたいけれども時間がない」と残業なしでは仕事が回らないようすを伺いました。

区は、「生活に困窮される方は、健康面の不安や失業等様々な要因により、医療費や家賃・税等が支払えない等、複合した課題に直面されております。」という一方で、「各職場の繁忙の実態を踏まえたケースワーカーの適切な配置に留意し、生活困窮者等支援をはじめとした生活保護制度の円滑な遂行に努めてまいります。」と、ケースワーカーの増員は明言しませんでした。



## 大阪万博修学旅行の見直しを

大阪万博への修学旅行についての質問では、万博会場の危険に就いていただきました。大阪万博会場建設現場で昨年3月にメタ

ンガスによる爆発事故が起きました。大阪市環境局の担当者は、日本共産党大阪府委員会の万博問題プロジェクトチームの聞き取りに対して、万博用地のどこでも爆発する可能性があるであると認めました。会場の危険性は、対策を取ると言われても、本当に安全なのか、と思わざるを得ません。

メタンガスの他に、基準値を超える一酸化炭素・硫化水素・二酸化炭素・アンモニアが検出されています。危険なガスのみならず、アクセスが悪いことで地震・大雨等大規模災害時に孤立が懸念される問題も解決されておらず、安全に修学旅行が行えるといえるのでしょうか。大阪府内では、熱中症や安全確保に懸念があるとして、学校行事として参加見送りを決めている自治体もあります。

現在、世田谷区立中学校5校が万博の修学旅行を決めています。

修学旅行先の見直しを求めましたが、区は「ご質問のありました安全対策について



は、公益社団法人2025日本国際博覧会協会が、ガス濃度測定結果を定期的に公表している他、地盤のかさ上げによる浸水対策、会場内における備蓄倉庫の設置と必要な食数の確保、橋の耐震化や台風による事前の入場制限など、協会が策定した防災実施計画に沿った基本的な安全対策が進んでいるものと認識しております。」「大阪万博は今年限りの稀有なイベントであり、生徒には、ここできかできない体験等を安全に得られるよう、引き続き、情報収集に努め、対象校との情報交換を積極的に行ってまいります。」との答弁にとどまりました。

大屋根リングを支える護岸の浸食被害が確認された、などのニュースもありました。子どもたちの安全が心配です。



大阪府庁 大阪万博キャラクター